

I 第31週の発生動向 (2013/7/29~2013/8/4)

- 手足口病については、上十三保健所管内では第28週から、八戸保健所管内で第30週から**警報**が継続しており、東地方+青森市保健所管内でも増加傾向で、今後の動向に注意が必要です。
- ヘルパンギーナについては、患者報告数は前週と同数の91人で、弘前、上十三保健所管内で定点あたり患者報告数が多くなっています。x

II 第31週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ															0				
小児科 (74) RSウイルス感染症			3	0.3	12	1.3							15	0.4	5				
小児科 (75) 咽頭結膜熱	1	0.1			1	0.1							2	0.0	-1			1	0.1
小児科 (76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.6	2	0.2	14	1.6			2	0.3	2	0.5	25	0.6	-9			5	0.6
小児科 (77) 感染性胃腸炎	15	1.9	16	1.8	5	0.6	6	1.2	3	0.5	3	0.8	48	1.2	5			15	1.9
小児科 (78) 水痘	2	0.3			7	0.8	1	0.2	11	1.8	11	2.8	32	0.8	10			2	0.3
小児科 (79) 手足口病	29	3.6	2	0.2	46	5.1			45	7.5	3	0.8	125	3.0	-2			29	3.6
小児科 (80) 伝染性紅斑			1	0.1									1	0.0	-5				
小児科 (81) 突発性発しん	2	0.3	1	0.1	3	0.3			2	0.3	2	0.5	10	0.2	-14			2	0.3
小児科 (82) 百日咳															0				
小児科 (83) ヘルパンギーナ	18	2.3	36	4.0	6	0.7	2	0.4	25	4.2	4	1.0	91	2.2	0			18	2.3
小児科 (84) 流行性耳下腺炎	1	0.1	8	0.9	2	0.2	1	0.2	1	0.2	4	1.0	17	0.4	0			1	0.1
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
眼科 (87) 流行性角結膜炎	1	0.5					1	1.0	1	0.5			3	0.3	-1			1	0.5
基幹 (92) クラミジア肺炎															-1				
基幹 (93) 細菌性髄膜炎															0				
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	4	4.0					1	1.0	7	1.2	1				
基幹 (96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- 結核(二類全数把握疾患):青森市1人、五所川原1人、上十三2人、むつ1人(2013年計:190人)
- 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患):弘前1人、八戸1人、五所川原1人(2013年計:34人)

IV 病原体検出情報

病原体検出情報は、ありませんでした。

感染症の窓

性器クラミジア感染症

(五類定点把握疾患)

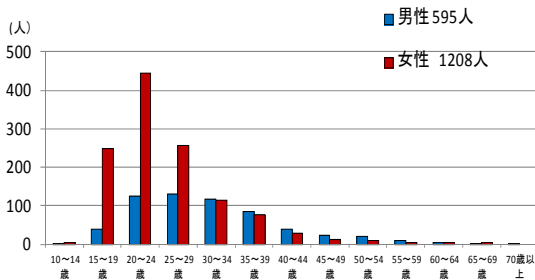


図 県内の年齢層別患者報告数 (2008~2012年)

性器クラミジア感染症は、細菌のクラミジア・トラコマチスが病原体で、成人では性行為により感染します。国内で最も多い性感染症で、感染症発生動向調査の月別の定点あたり患者報告数は、5月以降に増加し、10月以降に減少する傾向があり、夏季に感染の機会が増えることが推測されます。

男性では尿道炎が最も多く、2~3週間の潜伏期間後に排尿痛、尿道不快感、そう痒感などの症状を呈します。女性では子宮頸管炎、骨盤内炎、不妊などを起こしますが、自覚症状のない場合が多いために、診断、治療を受けないことが多く、妊娠検診時に正常妊婦の3~5%にクラミジア保有者が見られます。そのために男性パートナーや出産児へ感染させることもあるので注意が必要です。予防のためにはコンドームの使用が大切です。(参考:IDWR 感染症の話)

県内の過去5年間の発生動向では、女性の患者報告数は男性の約2倍であり、年齢層は、男性は20~39歳、女性は15~29歳と若年層が多くなっています(図)。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第17週～第31週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
17	H25.4.22 ~ H25.4.28	後天性免疫不全症候群1人	急性脳炎1人			風しん1人	
18	H25.4.29 ~ H25.5.5			劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
19	H25.5.6 ~ H25.5.12						
20	H25.5.13 ~ H25.5.19	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	E型肝炎1人			
21	H25.5.20 ~ H25.5.26	アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人		つつが虫病2人 風しん1人	
22	H25.5.27 ~ H25.6.2	侵襲性肺炎球菌感染症1人	バンコマイン耐性腸球菌感染症1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人 風しん1人	つつが虫病1人 風しん1人		
23	H25.6.3 ~ H25.6.9		破傷風1人				
24	H25.6.10 ~ H25.6.16		つつが虫病1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人		
25	H25.6.17 ~ H25.6.23		つつが虫病1人	つつが虫病1人			
26	H25.6.24 ~ H25.6.30		つつが虫病2人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人	つつが虫病1人	つつが虫病1人 風しん1人	腸管出血性大腸菌感染症1人
28	H25.7.8 ~ H25.7.14	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症3人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	つつが虫病1人					
30	H25.7.22 ~ H25.7.28		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人 レジオネラ症1人			
31	H25.7.29 ~ H25.8.4		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		

VI 結核(二類全数把握疾患)

2013年第24週～第31週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
24	H25.6.10 ~ H25.6.16	3	2	2	2		1
25	H25.6.17 ~ H25.6.23	1		1		1	1
26	H25.6.24 ~ H25.6.30	2	2	2		2	
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	3	1	3			
28	H25.7.8 ~ H25.7.14		1	1			2
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	1	1	1	1	1	
30	H25.7.22 ~ H25.7.28	1		3	1	1	
31	H25.7.29 ~ H25.8.4	1			1	2	1

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

分類	(2013年第1週～第29週累計)																				
	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
疾病名	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコクス症	オウム病	Q熱	コクシジオデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリア	ライム病
累積報告数	1	14228	1	78	1206	33	31	74	89	9	6	3	3	24	8	136	103	54	1	24	4
分類	(2013年第1週～8月5日16時30分累計)																				
	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ球菌感染症	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎
累積報告数	2	509	5	562	148	237	2	111	125	844	40	51	11	464	8	621	68	33	13110	165	2

青森県

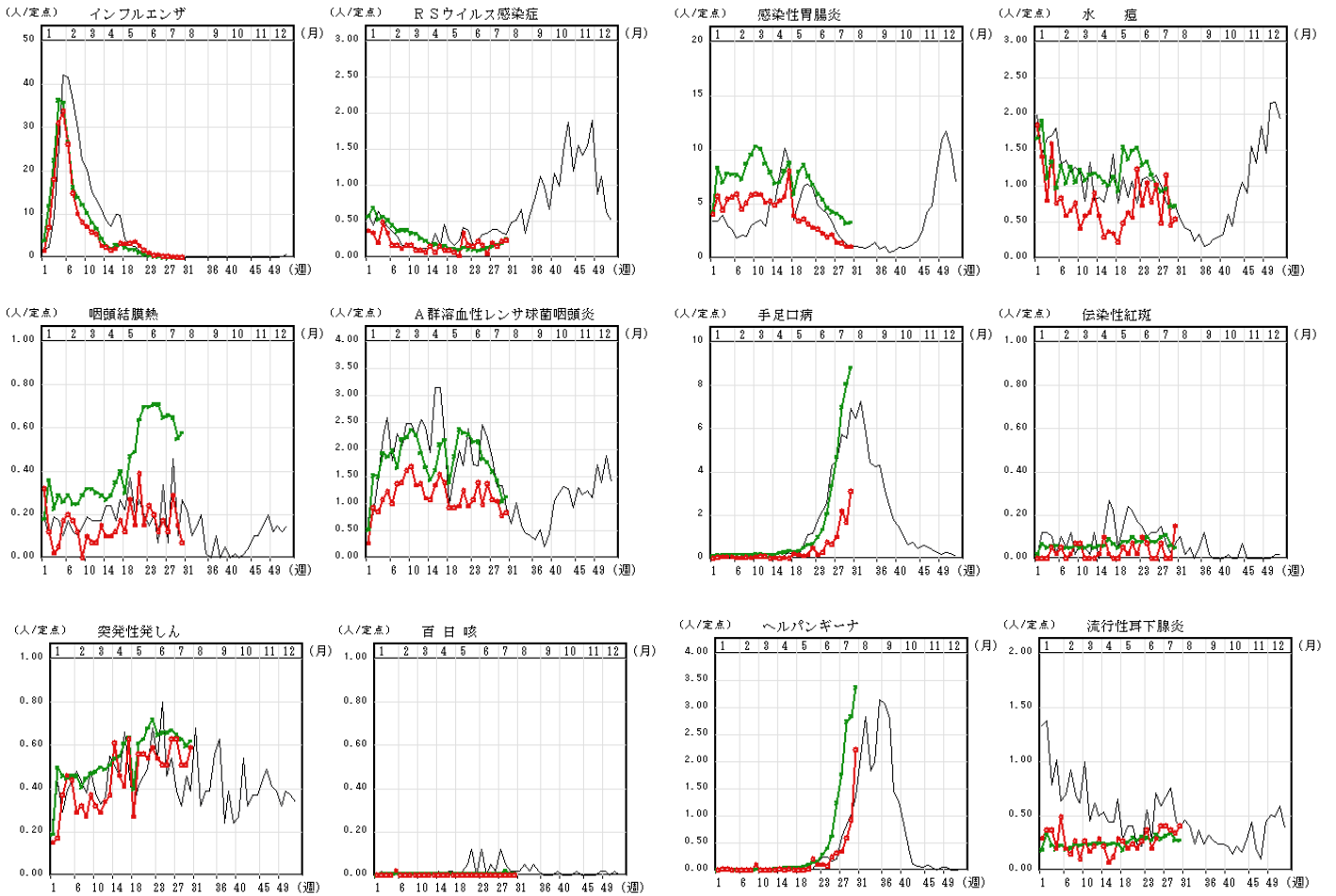
(2013年第1週～8月5日16時30分累計)

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん					
累積報告数	190	34	2	16	2	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1				8

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

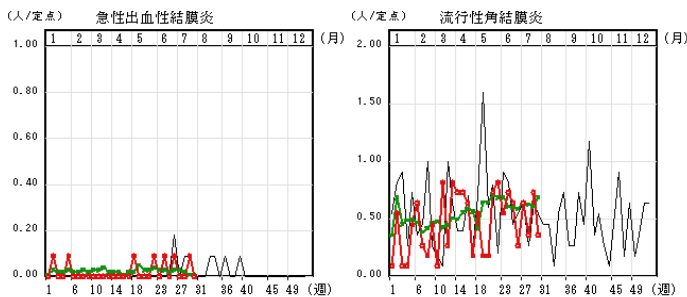
2013年第30週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移

2013年第30週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2013年第30週

